

I

問1 A 苦役 B 弁護士 C 不再理

問2 4

問3 2

問4 4

問5 3

問6 5

問7 3

問8 被害者参加制度

\*ただし、この制度は、2007年の法改正によって導入された。

II

問1 A 輔弼 B 説明 C 行政手続

問2 記号：イ 語句：伝統

問3 4

問4 2

問5 5

問6 大日本帝国憲法下の内閣総理大臣は、「同輩中の首席」にすぎず、他の国务大臣の任命権や罷免権をもたなかったが、日本国憲法下の内閣総理大臣は、内閣の「首長」とされ、他の国务大臣の任命権や罷免権に加えて、内閣を代表して議案を国会に提出するなどの権限をもつ。日本国憲法において内閣総理大臣に以上のような強い権限が認められている理由は、内閣における内閣総理大臣のリーダーシップを実現する必要があるからである。(198字)

問7 4

III

問1 経済

問2 2

問3 2

問4 3

問5 所得が集団の中央値の半分にあたる貧困線に届かない人の割合 (28字)

問6 4

問7 1

問8 3

問9 兌換

問10 1

IV

- 問1 かけがえのない地球
- 問2 3
- 問3 3
- 問4 4
- 問5 2
- 問6 2
- 問7 4
- 問8 差異 責任
- 問9 1
- 問10 リデュース リユース リサイクル